

四川旅行

中西 陽介

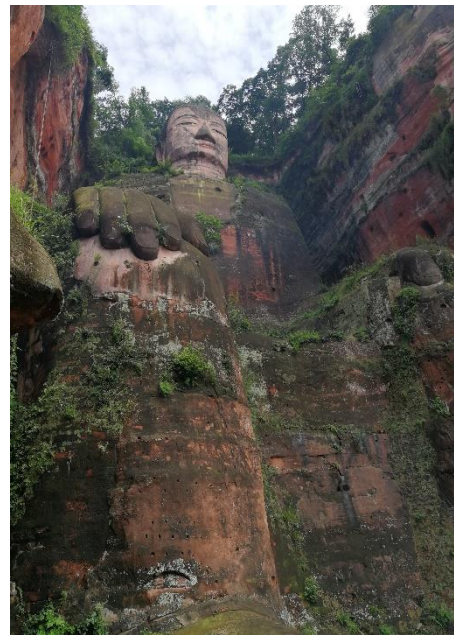
夏休みということで、山西省以外にも旅行してみようと思い立ち、四川省に行ってきました。四川省は日本人にもよく知られた場所だと思います。麻婆豆腐や火鍋などの辛い料理や三国志の史跡、そして何と言ってもパンダの故郷として有名です。

太原から四川省の省都である成都までは、かなり距離があるので、飛行機で行くのが無難なのですが、今回は鉄道の旅を計画しました。

中国の鉄道は全て指定席です。普通の列車の他、日本の新幹線のような高速鉄道もあります。高速鉄道もいくつか種類があるのですが、だいたい皆、高鉄(gaotie)と呼んでいます。

今回、往路は列車の寝台、復路は高鉄を利用しようと計画しました。しかし、切符の発売当日に予約を試みましたが、寝台車の切符は即売り切れで買えず、結局往復高鉄の旅になりました。太原から成都までは、高鉄で7時間以上、列車では、ほぼまる一日かかります。

まずは、樂山に到着。多くの人を訪れる人気の観光地で、川沿いの崖に彫られた巨大な「樂山大仏」はユネスコの世界遺産に登録されています。崖の上からでも見えるのですが、やはり下から見上げる大仏は壮観です。ところが、崖を降りる階段には長蛇の列。頑張っ



樂山大仏

て並びましたが、結局下まで降りるのに二時間ほどかかりました。中国の有名な観光地はどこも溢れんばかりの人の多さです。見学スポットや行列に並んでいると、必ず割り込んできたり、人を押しのけたりする人が少なからずいます。しかし、そのことに文句を言ったり、注意をする中国人はほぼいません。これは日本と大きく異なる習慣なので、なかなか慣れることができません。日本人の感覚だと、どうしても苛々してしまいます。

次は成都、まずは「パンダ繁育研究基地」に行きました。ジャイアントパンダの保護施設で、たくさんのパンダを見学することができます。残念ながら、

夏の暑さと連日の雨のせいか、野外にはほとんどパンダはいませんでした。しかし、赤ちゃんパンダも見ることができ、とても可愛く、行った価値がありました。

その他にも、三国志の英雄たちが祀られている「武侯祠」、仏教寺院である「文殊院」などを訪れました。

とても充実した一週間ほどの旅でしたが、悲しいことに毎日雨でした。「四川の犬は太陽を見て吠える。」という有名な文言がありますが、特にこの時期、天気があまりパツとせず、なかなか太陽が現れないようです。

天気の良いときに、また是非訪れたいと思います。



ジャイアントパンダ



赤ちゃんパンダ